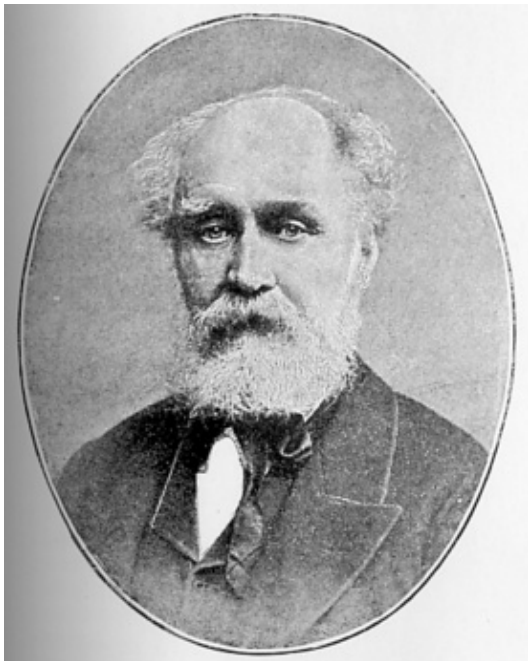


協同組合運動、分裂？

ジル・ルシェヴァリエの反競争代理店、E. V. ニールの中央協同組合代理店



E. V. ニールの肖像

https://en.wikipedia.org/wiki/Edward_Vansittart_Neale

基督教友愛新聞

発行所：
白十字キリスト教
社会主義研究会
(<http://www.ichtus.net/css>)
発行人：
倉井 香茅哉 (独立系研究者)

今回は、労働者生産協同組合の市場問題を解消するための消費者協同組合の実例として、ジル・ルシェヴァリエの反競争代理店、E. V. ニールの中央協同組合代理店の構想を概説したい。

一八五〇年六月の「労働者協同組合促進協会」(SPWMA) 設立後、

ラドローたちは、ロンドンに

同組合を設立したが、これらの組合は、協同思想を充分に具現化する水準には至らなかった。さらに、各労働者生産協同組合は、原材料の確保、ならびに製品販売市場の確保という決定的な課題に直面した。この点に関

しては、すでに一八五〇年六月の段階で、SPWMAの執行機関である促進者協議会のメンバ

ーであり、フランス人亡命者のジル・ルシェヴァ

リエが、原材料の市場と製品の販売市場を確保

するための卸売組織、

「反競争代理店」(Anti-Competitive Agency) の

設立を提案していた。富

裕層を彼らの運動に引きつけ、資本家と労働者生産協同組合を媒介するための中間組織である。しかしながら、ラドローはこの計画に反対した。彼にとって、市場の確保は生産者の利益を優先するものでなければならなかった。労働する組合員を主人公とする新しい社会・経済秩序の構築を目指したラドローは、富裕層を顧客とする反競争代理店に、既存の階級社会を前提とする誤謬を読み取ったのである。

労働者による「生産」の領域から

「分配」「消費」の領域に至る運動へ

ルシェヴァリエの計画は、ラドローの批判によって頓挫した。とはいえ、労働者生産協同組合にとって、原材料の購入

と製品販路の確保は依然として難題であった。そのため、かつてのオーウェン主義者であったロイド・ジョーンズ、ウォルター・クーパーが奔走し、

イングランド北部やスコットランドのロッチデー

ル型協同組合運動の状況をキリスト教社会主義者

たちに伝えた。ラドローもまた、一八五〇年夏の視察旅行によって、消費

者協同組合運動の価値を認識するに至った。

ルシェヴァリエは、反

競争代理店の計画が頓挫したのち、再度「ロンドン協同組合店舗」(the London Co-operative Stores) の計画を提示した。前回と異なる点は、

ロイド・ジョーンズ、E. V. ニールが参加したこ

とである。ニールは、トマス・モアも学んだ高等

法学院、リンカンズ・イ

ン出身の法廷弁護士である。財産家であり、協同組合事業に惜しげなく財産を注ぎ込むことから、

六月八日(木)に実施された英国総選挙では、テリーザ・メイ首相率いる与党・保守党が第一党の無償化、住宅問題を維持したものの、三三〇議席から三一八議席に後退した。過半数(三二六議席)には八議席足りず、イギリス下院は、いづれの政党も過半数を獲得できない「ハンゲン・ラムメント」(宙ぶらりんの議会)となった。

今回、ジェレミー・コービン率いる労働党が、世論調査の結果を覆して躍進した。ブレグジット(英国のEU=欧州連

合離脱)をめぐる世論が割れる中、労働党の掲げた政策は、大学授業料の無償化、住宅問題を

はじめ、「未来への投資、若者たちへの投資」を基調とした。また、労働党に票を譲るため、若者の多い地域で緑の党が候補者擁立を見送った。さらに、米

国バーニー・サンダース陣営の選挙活動家たちと連携し、インターネットを駆使した選挙戦略が取られた。ソーシャル世代の連帯と福祉政策の実現に大きく期待が膨らむ。

分裂は避けられたが、ニールとラドローの対立は埋まらず、最終的にSPWMAの多数がニールを支持し、ラドローはSPWMAを去った。一八五四年にキリスト教社会主義運動は終焉し、ニールのCCAも一八五七年に役割を終えた。彼らが再び協同組合運動の指導者となるのは、一八六〇年代以降である。

しかし、CCAの設立において、ニールは主に彼一人の責任で行動した。その結果、SPWMAの組織内で、CCAはいかなる正当性と重要性をもつかが問題となった。モリスの尽力によって組織の内部分

裂は避けられたが、ニールとラドローの対立は埋まらず、最終的にSPWMAの多数がニールを支持し、ラドローはSPWMAを去った。一八五四年にキリスト教社会主義運動は終焉し、ニールのCCAも一八五七年に役割を終えた。彼らが再び協同組合運動の指導者となるのは、一八六〇年代以降である。

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

論説＋英国総選挙と福祉政策

メイ首相率いる与党・保守党の後退、野党・コービン労働党の大躍進。ソーシャル世代が求める福祉政策とは。

六月八日(木)に実施された英国総選挙では、テリーザ・メイ首相率いる与党・保守党が第一党の無償化、住宅問題を維持したものの、三三〇議席から三一八議席に後退した。過半数(三二六議席)には八議席足りず、イギリス下院は、いづれの政党も過半数を獲得できない「ハンゲン・ラムメント」(宙ぶらりんの議会)となった。

今回、ジェレミー・コービン率いる労働党が、世論調査の結果を覆して躍進した。ブレグジット(英国のEU=欧州連

合離脱)をめぐる世論が割れる中、労働党の掲げた政策は、大学授業料の無償化、住宅問題を

はじめ、「未来への投資、若者たちへの投資」を基調とした。また、労働党に票を譲るため、若者の多い地域で緑の党が候補者擁立を見送った。さらに、米

国バーニー・サンダース陣営の選挙活動家たちと連携し、インターネットを駆使した選挙戦略が取られた。ソーシャル世代の連帯と福祉政策の実現に大きく期待が膨らむ。

分裂は避けられたが、ニールとラドローの対立は埋まらず、最終的にSPWMAの多数がニールを支持し、ラドローはSPWMAを去った。一八五四年にキリスト教社会主義運動は終焉し、ニールのCCAも一八五七年に役割を終えた。彼らが再び協同組合運動の指導者となるのは、一八六〇年代以降である。

しかし、CCAの設立において、ニールは主に彼一人の責任で行動した。その結果、SPWMAの組織内で、CCAはいかなる正当性と重要性をもつかが問題となった。モリスの尽力によって組織の内部分

裂は避けられたが、ニールとラドローの対立は埋まらず、最終的にSPWMAの多数がニールを支持し、ラドローはSPWMAを去った。一八五四年にキリスト教社会主義運動は終焉し、ニールのCCAも一八五七年に役割を終えた。彼らが再び協同組合運動の指導者となるのは、一八六〇年代以降である。

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

【参考文献】
(一) 中川雄一郎「キリスト教社会主義運動と労働者生産協同組合」その二「労働者協同組合促進協会の創設と展開」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇二年十月)
(二) 中川雄一郎「E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論」『協同の発見』No.123(協同総合研究所、二〇〇三年八月)

天帳院日記

社会主義に現代的意義はあるか。二〇一六年の米国大統領選挙では、二〇〇〇年代以降に成人した若い世代

(ミレニアル世代)が、社会主義者のバーニ

ー・サンダース候補を熱狂的に支持した。公立大学の授業料無償

化、最低賃金の引き上げ、官営医療保険制度の創設、労働者の病欠

の有給化、賃金の男女平等、インフラへの積極的投資といった彼の政策が、若者世代に好意的に受け入れられたのだ。学費負担、非正規雇用、学資ローンの

支払いによって将来の先行きが見えない世代にとって、サンダース候補の掲げた政策は、まさに希望だった。

白十字の会が「キリスト教社会主義」を明確に標榜していること

の背景には、米国の「サンダース旋風」に勇気づけられた、という側面もある。然り、我らは社会主義者である。

連帯を求めて孤立を恐れず。国際情勢の前線

で協同を実現したい。

告知

ドストエフスキー読書会

（第 6 回 白十字の会・定期読書会：キリスト教文学、社会評論）

テキスト：ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』
（新潮文庫）

【プログラム】

開会
倉井香矛哉「キリスト教社会主義概論 6」
参加者一同「ドストエフスキー読書会」
休憩
質疑応答、議論、問題提起
閉会

（全体で 2～3 時間程度を予定）

【その他、参考図書】

イマヌエル・カントの信仰的著作
ヘーゲル『キリスト教の精神とその運命』
ダーフィット・シュトラウス『イエスの生涯』
フォイエルバッハ『キリスト教の本質』
マルクス『資本論』
カール・バルト、パウル・ティリッヒの各著作
19 世紀英国における産業革命とキリスト教社会主義
『新紀元』同人、賀川豊彦らのキリスト教社会主義
内村鑑三、無教会の伝道者たち
その他
（順不同）

日時：2017 年 7 月 22 日（土）14 時～17 時

（途中入退室可。会場は一般の喫茶店ですので、ご都合のよい時間帯にお越し下さい。）

場所：都内喫茶店を予定

※ 今回は、東急東横線沿線（都立大学～自由が丘）の喫茶店での開催を予定しております。
詳細は、書記長の倉井（独立系研究者）から参加希望者の皆様へ個別に連絡いたします。

※本読書会は、学術的関心に基づく有志の集まりです。主催団体名に「キリスト教
社会主義」と銘打っておりますが、「信仰の有無・教派の別」等は一切問いません。

主催：白十字キリスト教社会主義研究会